

## 豊岡東小学校・幼稚園の豊岡北小学校・幼稚園への統合問題に対する私の考え方

当件については、平成23年から今日まで反対・賛成の論議が続いていたもので、今11月議会で最終結論議案が提起されたものであります。

私は、教育委員会の保護者等への提案プロセス・手続き上の不信が、今、議論の中心になっていることを残念に思っておりました。今はすでに結論を出す時期に来ているにもかかわらず。そうしたことで、ここは本質的な事由をもって論議を終結させるべきと判断し、下記の考え方をもちて統合に賛成致しました。

——本会議において賛成討論に立つとなった場合には、私はこう考えると訴えようとして民生教育委員会における賛成討論内容に手を入れてまとめたものであります。しかしそうした状況にはなりませんので、代表して賛成討論に立った副委員長にこうした思いを託しました。——

下記の討論原稿は読むことなく終わりましたが、私の考え方であります。

平成25年12月19日（金）絹村和弘

私は、議案112号 磐田市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について に賛成の立場で討論いたします。

私自身は、この豊岡東小学校・豊岡東幼稚園の 豊岡北小学校・豊岡北幼稚園への統合課題が大きな問題となっていることを知りましたのは、この4月、議員になってからであり日が浅いのでありますが、議会における一般質問での議論とか、議会報告会における保護者の意見、あるいは自分なりの情報収集を通じて理解に努めました。そして、東小学校・東幼稚園の正門からではありますが、外観を見ての子供たちの学び遊ぶ姿の想像・イメージ、また乗用車で北小までの通学路を走り眺め、そして、距離・かかる時間を計測してみても感想等も加えまして、賛成できると判断いたしました。

その理由は、幼児期・児童期に受ける教育・環境は、人としての基礎作り、人間形成の為の最も重要な時期であり、この時期における多様な体験そして集団生活を通じて社会性・自己コントロール力を身につけ、コミュニケーション力を育むことが、将来の、心豊かにそして健康な充実した人生を送ることにつながると理解するからであります。

そうした観点から見て、一定規模の児童・生徒数は必要と考えます。それゆえ学校教育法にても“標準学校規模”等定めているのであり、それは12から18学級とのことであります。だとすれば、今後も続いていくことになると推定されている複式学級や、極めて少ない児童数の学級を解消していくことは、教育委員会の責務と考えます。

幼稚園にしても、望ましい集団活動を行う環境としては3・4・5歳3学年の合計が30人程度以上であるということであり、14～15人で推移している現状の解消は必要と理解致します。

トンネルを抜け、一山超えて新しい学校・幼稚園に移ることになる我が子に対する保護者の不安・心配は理解できます。東小・東幼稚園のあの立派な学び舎が近くにありながら、遠くの学校に行かせなくてはならなくなることの心情はよくわかります。ではありますが、未来を担う子供たちへの教育は時期を待ってはくれません。今しかありません。

ここで、私の住む南御厨の子供たちの様子を少し述べさせていただきます。と言いますのは、豊岡東小学校・東幼稚園が位置する敷地地区と南御厨地区とが似かよった地域と感じたからであります。私が勤務していた南御厨公民館周辺に東脇・新出・和口・東新屋という昔からの4自治体がございますが、敷地地区の330世帯、約40人の児童数に近く、この地区全体で丁度300世帯、約50人の児童が磐田市立東部小学校へ通っております。その中の、和口の、私が朝挨拶をかわす10人のグループは、通学距離が2.7kmで豊岡東小から北小までの距離と全く同じであります。7:05に集まって7:45に東部小に着きます。40分かけて徒歩で通学しています。この4月に入学した一年生は上級生に小走りについて行きます。でも心配いりません。先頭と最後尾には上級生がしっかりついていきますから。その一年生も今8ヶ月を経過し、一年生二年生三年生の区別が私にはつかなくなりました。こうした風景がずっと以前から当たり前前にくりかえされているのです。

そうした児童の一人だった明るいわんぱく小僧の少年は、その後中学横綱となり、高校・大学と活躍し今4年生、体が少し小さかったからかプロには行かず、県の高校相撲を育てる側に就くか母校の大学に残って後輩たちを指導する側になるか決めかねているとのことですが、逆境はこうした強い精神・強い身体を作る一例であります。

あのホームステイに代表される伝統的な“敷地教育”は、私は公民館長時代から素晴らしい社会教育のお手本と尊敬の念をもって存じ上げておりました。この度の東小PTAの文部科学大臣賞受賞は“遅すぎる！”と思ったぐらいであります。統合してからもこうした敷地地区の皆さんの教育力は発揮していただけていると思います。新しい学校に行く児童たちには、今までになく揉まれる時や試練もありましょう。ですが敷地教育で育まれた優しい心に、強さを併せ持った時、彼らの将来は明るく、希望が持てると信じます。そうした子供たちへの期待と、受け入れ側に立つ先生方に、どうぞ信念をもって教育に当たってほしいとお願いして賛成討論といたします。



豊岡東小学校



豊岡東幼稚園